

私の留学体験記

広島県立安古市高等学校 1年 下川 紗弥 (しもかわ さや)

留学期間 令和元年7月25日 ~ 令和元年8月10日 (17日間)

留学先 セント・ジョンズ・グラマースクール (アデレード, オーストラリア)

中学校3年生の時に、友達のお姉さんの短期留学の話聞く機会がありました。その時、私は英語が好きだったこともあり、短期留学に興味を持ちました。私は彼女に短期留学中の様々なことについて質問しました。たとえば、どのような食べ物があるのか、ホームステイ先の家族とはどのような関係だったか、どのくらい英語力は必要なのか、などという質問でした。彼女は私の質問に対して細かく答えてくれました。そのおかげで不安がなくなり、短期留学に行きたいと強く思うようになりました。

私は今回の短期留学で2つの大切なことを学びました。

1つ目は積極性です。普段の日本の学校の授業は、先生が私たち生徒を指名し、指名された生徒が答える形式ですが、セント・ジョンズ・グラマースクールの授業は、どの授業も自ら手を挙げ答えるという形式でした。自ら手を挙げなければ何も始まらないし、自ら英語を話そうとしなければ、英語に触れる時間が少なくなってしまうということ、短期留学に行けば自然と英語をたくさん話すわけではないということがわかりました。だから、私はバディの友達に挨拶したり、積極的に話しかけたりするよう努力しました。

2つ目は感謝と笑顔です。バディやホストファミリーと初めて会う時や、一緒に学校生活や週末を過ごす時に、一番大事な「ありがとう」という言葉だと思います。ホストファミリーと過ごす時間や、姉妹校の生徒たちとの時間でも、色々なところでみんなは私に優しくしてくれました。私はそんな時いつも、笑顔で「ありがとう」と言いました。そうすると、相手も嫌な気はしないし、良いコミュニケーションを取ることができるようになりました。

私は今回の短期留学で学んだ積極性、挨拶、笑顔の大切さをこれからの学校生活で生かしていきたい、さらに、私の周りの友達にもその大切さを伝えることができれば良いなと思っています。